

事業所名

IPP0プログラミング 長田校

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

9 日

法人（事業所）理念		一人ひとりが主人公。 自分らしさを大切に、ITの楽しさに触れ、できた事の喜びを共感し、褒めて伸ばす。			
支援方針		創造的な思考で自ら課題を発見し、解決するとともに新たな価値を生み出す力を引き出す。 ITリテラシーを学び、正しい知識を身に付ける。			
営業時間		【登校日】10:00 ～ 19:00 【学休日】9:00 ～ 18:00	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・手洗いうがい、検温等の健康的な生活リズムやADLの自立支援 ・社会生活に必要なIADL（金銭や時間管理、公共交通機関の利用、身辺整理）を支援 ・視覚支援掲示等の環境の整備			
	運動・感覚	・正しい姿勢を保持し、ボディイメージを定着させる支援 ・身体の動きや音声認識によってコンピューターを操作できる機器を活用し、体力・感覚向上の支援 ・療育前後のストレッチを用いた、自発的な疲労回復につながる支援			
	認知・行動	・生活能力の向上を目的とした感覚統合プログラム（ビジョントレーニング等） ・プログラミングを活用した認知・行動能力の向上（論理的に問題を発見し、あらゆる要素、手法により最適解を導く） ・特性に対する環境の配慮（スケジュール管理表、タイマー、ヘッドホン、パーテーション等）			
	言語 コミュニケーション	・ITデバイスを活用した社会的規律、ITリテラシー能力の向上プログラム ・リモートツールを活用した、コミュニケーション能力の向上プログラム ・プレゼンテーションを用いた、自己表現活動プログラム			
	人間関係 社会性	・SSTトレーニングによる社会性やネットリテラシー学習 ・集団活動への参加支援 ・児童への定期的なヒヤリングの実施			
家族支援		・子育てに関する相談援助 ・レスパイトケアを行い、保護者へ休息を提供する支援	移行支援	・児童のアセスメント結果や個別支援計画書など支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有	
地域支援・地域連携		・学校、児童館、医療機関等との情報連携 ・併用利用先の障がい福祉サービス事業所等との連携	職員の質の向上	・施設内研修の開催 ・カンファレンスの開催	
主な行事等		・農業体験を通し、収穫や調理を行う ・IT機器の解体、組み立て ・創作活動			